

# 総合的ながん対策の更なる充実

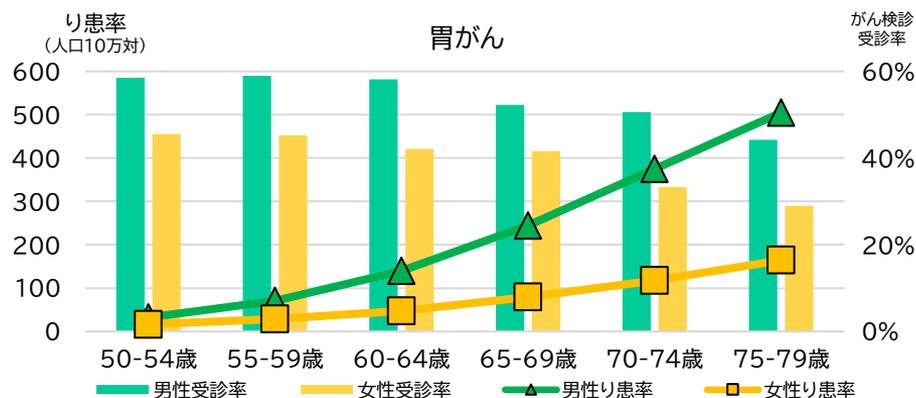
1. 65歳以上の方のがん検診・精密検査費用の無料化
2. 遺伝性のがんへの対策を強化
3. 生成AIがん相談サービス「よこはまランタン」  
内閣府「未来技術社会実装事業」に採択

2026年3月27日

市長定例記者会見

# 1 65歳以上の方のがん検診無料化

年齢階級別がんり患率(全国)・がん検診受診率(市)



(出典)り患率:国立がん研究センターがん情報サービスがん統計(全国がん登録2021年を基に作成)  
がん検診受診率:令和4年国民生活基礎調査(横浜市分)

- ・ 年齢と共にがんり患リスクは上昇
- ・ 65歳から受診率は低下

従来から70歳以上の方のがん検診無料

令和6年度

65歳の方のがん検診無料化により

65歳の方の受診者が

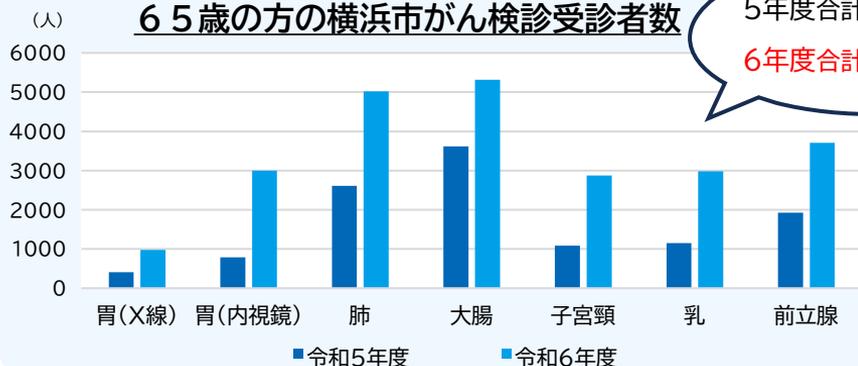
合計で **約2倍** !

胃がん(内視鏡)は **約4倍** に!

65歳の方の横浜市がん検診受診者数

5年度合計 11,576人

6年度合計 **23,869人**



# 1 65歳以上の方のがん検診無料化

65歳

66歳～69歳

70歳以上

無料(令和6年4月～無料化)

無料

令和8年4月1日から **無料** とします！

横浜市がん検診を全て受けた場合

実際の検査費用

男性

4種類  
胃・肺・大腸  
・前立腺がん検診

約31,030円  
(うち受診者の受診料4,780円)

女性

5種類  
胃・肺・大腸・子宮頸  
・乳がん検診

約41,030円  
(うち受診者の受診料5,820円)

これらの検査を  
**無料** で受けられます

# 1 65歳以上の方の精密検査費用無料化

65歳～69歳

70歳以上

無料(令和7年1月～無料化)

令和8年4月1日から **無料** とします！

政令市初！

## 助成対象になる主な精密検査の項目

検診の種類	精密検査の項目
胃がん	胃内視鏡検査、生検
大腸がん	大腸内視鏡検査、生検、注腸造影検査
肺がん	胸部CT検査、気管支鏡検査、生検
乳がん	マンモグラフィ、乳房超音波検査、針生検
子宮頸がん	コルポスコピー(腔拡大鏡診)、組織診、HPV検査
前立腺がん	PSA再検査、前立腺超音波検査、前立腺MRI検査、生検

## 2 遺伝性のがんへの対策を強化

令和8年4月1日から、2つの新たな助成制度を開始します。

### ○ 助成制度1

ご自身の遺伝情報を調べる場合の費用助成

### ○ 助成制度2

遺伝子の変異があると診断された方が、  
定期的な検査などを受ける場合の費用助成

1、2とも保険適用外のものが対象です。

#### 制度拡大

対象を拡大 HBOC → 遺伝性のがん全体 (がんの約5~10%)

18歳以上  
↓  
0歳

年齢を拡大



ご家族が遺伝性のがんと診断された方が、遺伝情報を調べる場合

- ・ 遺伝学的検査 : 支払金額の 10分の7 上限5万円
- ・ 遺伝カウンセリング : 支払金額の 10分の7 上限1万円

保険適用外のものが対象です。

全国初

# 定期的に受ける検査などの助成を新たに開始

遺伝子の変異があると診断された方が、  
定期的な検査などを受ける場合

がんを発症していない部位に対する定期的な検査など  
支払金額の 10分の7 上限5万円を最大5年分

保険適用外のものが対象です。

### 【定期的な検査の例】

遺伝性のがん	定期的な検査の例（検査の時期・頻度）
遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC)	・乳房造影MRI：25歳～29歳 年1回 ・マンモグラフィー + 乳房造影MRI 併用：30歳～75歳 年1回
リンチ症候群	・大腸内視鏡：20～25歳から 1～2年に1回 ・子宮内膜組織診：30～35歳から 1～2年に1回

## 2 遺伝性のがんへの対策を強化

### ・主な特徴

- ①がんを発症しやすい
- ②若年でも発症
- ③複数のがんを発症
- ④家系内で同じ種類のがんを発症

※1「遺伝性腫瘍症候群に関する多遺伝子パネル検査 (MGPT) の手引き 2025 年版」「遺伝性腫瘍ハンドブック」※2 国立がん研究センターがん情報サービス

(例)	発症リスクがあるがん	がん発症時期	生涯でがんになり患する確率	
			遺伝子変異がある場合※1	全体※2
<u>リンチ症候群</u>	大腸、子宮、卵巣など	10歳代～60歳頃	<b>大腸がん</b> : 40～80% 子宮体がん : 30～60% 卵巣がん : 10～20%	大腸がん 男性 : 10.0%、10人に1人 女性 : 8.1%、12人に1人 子宮体がん : 2.2%、卵巣がん : 1.6%
<u>リ・フラウメニ症候群</u>	乳、脳腫瘍など	0～60歳頃	<b>女性</b> : ほぼ100% <b>男性</b> : 73% 30歳までに約50%、60歳までに約90%	女性 : 50.8%、2人に1人 男性 : 63.3%、2人に1人

- ・遺伝子の変異があると診断された方は、早期発見・早期治療のため、定期的な検査などを受けることが重要 (例：MRI・超音波内視鏡 等)

### 3 生成AIがん相談サービス「よこはまランタン」 内閣府「未来技術社会実装事業」に採択



横浜市

「よこはまランタン」を実証で終わらせず、  
継続的な事業となるよう、国がサポート！



選定事業 内閣府  
未来技術社会実装事業

「よこはまランタン」※1が内閣府「未来技術社会実装事業」※2に！

3/23  
採択

※1「よこはまランタン」は、連携協定により一般財団法人がん療養財団が提供しているサービスです。

※2 AIやIoTなどの新しい技術を活用し、「地域の担い手の育成・確保や労働生産性の向上、生活基盤の確保」等の地域課題の解決と地方創生を目指す地域課題の解決と人口減少時代における持続可能なまちづくりを推進する内閣府の取組です。

#### 【今後の展開】



横浜市での実証により  
生成AIによるがん相談  
体制モデルを実装



全国の自治体が  
地域特性に応じて活用できる  
共通モデルとして展開

#### 【新たなアップデート】

横浜市ウェブサイトの医療以外の情報も  
取り込み、回答できるようになりました。

- (例)
- ▷ 健康・福祉
  - ▷ 子育て・教育
  - ▷ 防災・救急 など